

# 第3回クールジャパン戦略会議 説明資料

令和3年9月

経済産業省

# 目次

・クールジャパン機構の取組・・・P2

・コンテンツ産業政策の柱、方向性・・・ P5

# クールジャパン機構の取組

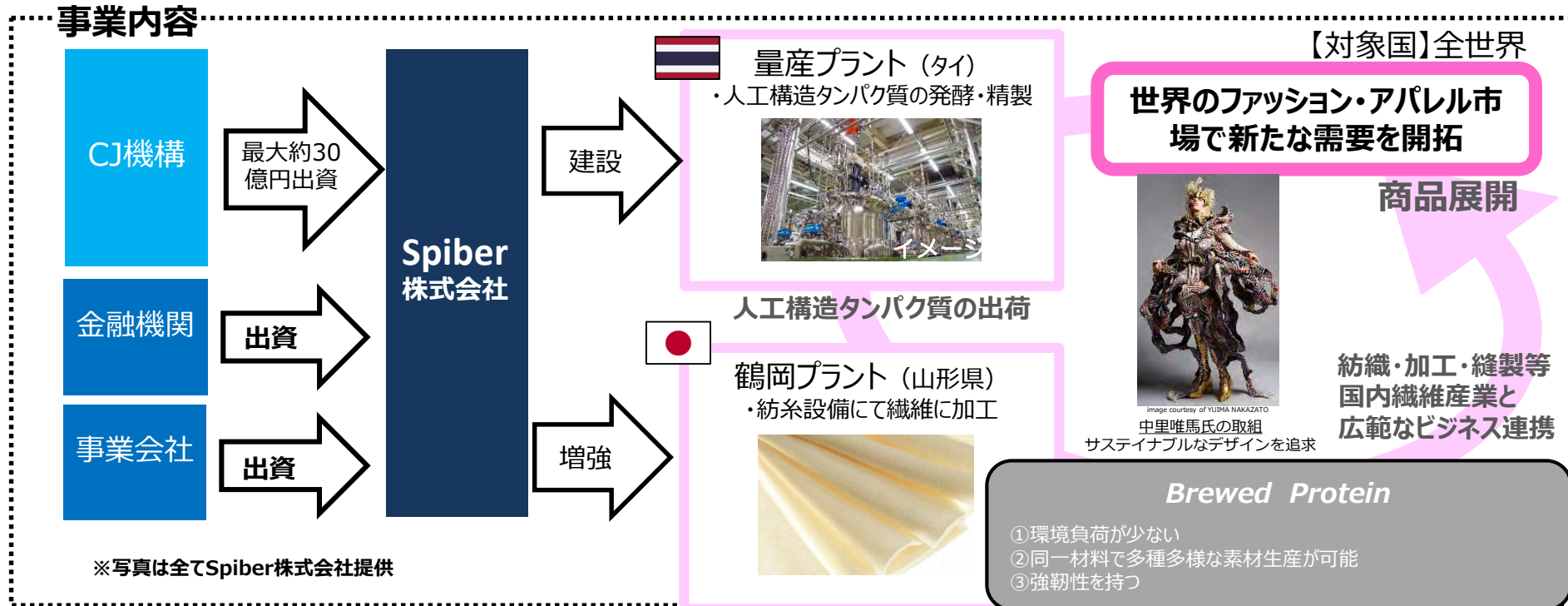
# クールジャパン機構の主な取組（価値観の変化への対応）

関連する柱：①

- **社会や人々の価値観の変化**により、**SDGsやESG投資の重要性が高まってきた**ことを踏まえ、2019年の「官民ファンドの運営に係るガイドライン」（改定）において、「**各ファンドの政策目的を踏まえたESG（Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス））投資とSDGs（Sustainable Development Goals）への取組の推進**」が明記。CJ機構においても、従前よりスパイバー社への投資など具体的な取組として推進。
- 今後、**世界が直面する様々な社会課題**のうち、**防災、超高齢化社会、循環型経済**など**日本だからこそ強みを発揮できる点も踏まえ**、海外需要開拓の支援に取り組み、課題解決に貢献。

## <事業例>

- **Spiber社**が開発する**クモ糸の遺伝子をもとにした人工タンパク質の新素材**は、**原料を化石資源に依存せず生分解性で環境負荷が低く、持続可能な次世代期間素材**として**世界から注目**を集める。



# クールジャパン機構の主な取組（輸出とインバウンドの好循環の構築）

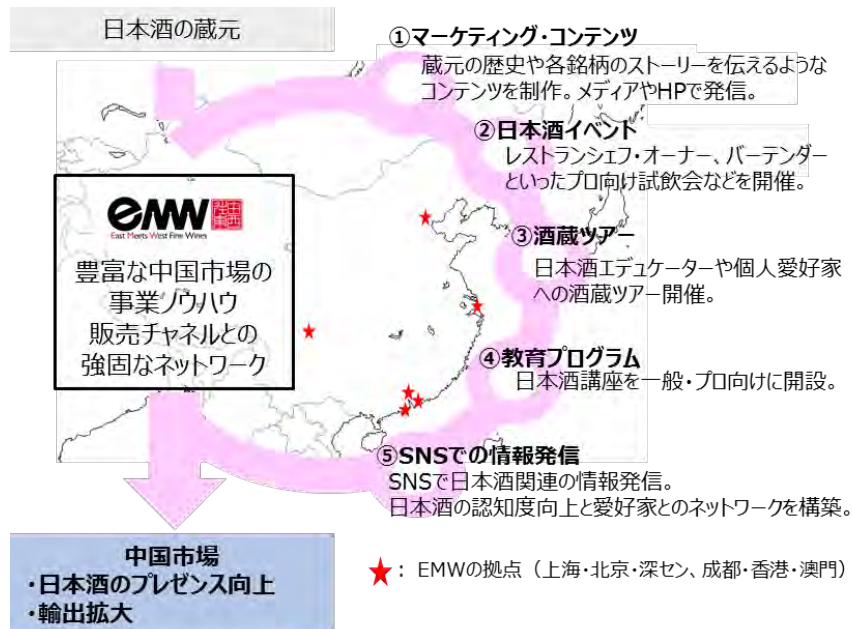
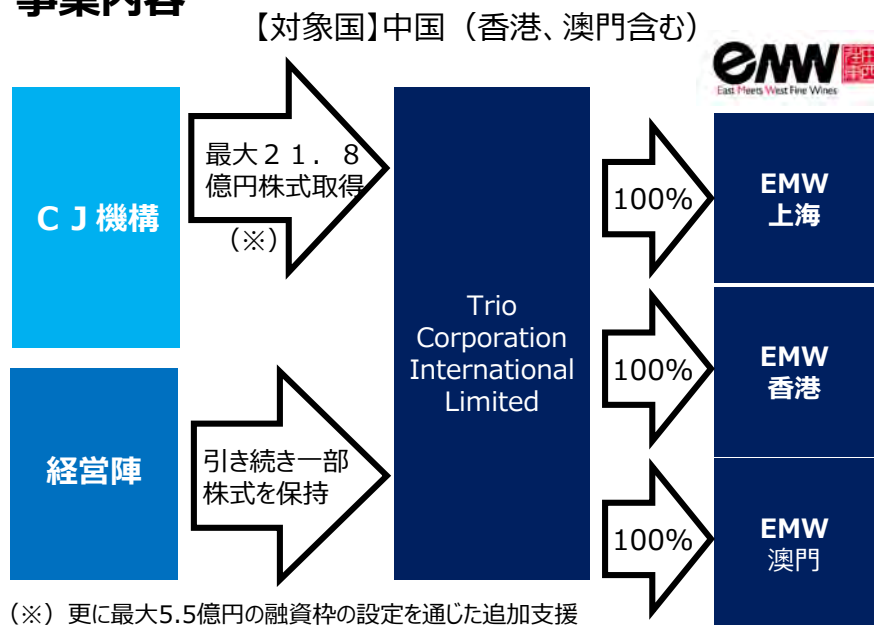
関連する柱：②

- 世界的に新型コロナウイルスの影響が続き、入国規制など様々な制約を受ける中、インバウンドなど分野によっては依然として厳しい状況。
- 他方、感染症拡大に伴う行動変容により、業績が伸びている分野にも注力。例えば、海外現地に販路を有するオンラインプラットフォームと国内事業者とのビジネスマッチングを進めることで、有望な海外市場への展開を支援。

## <事業例>

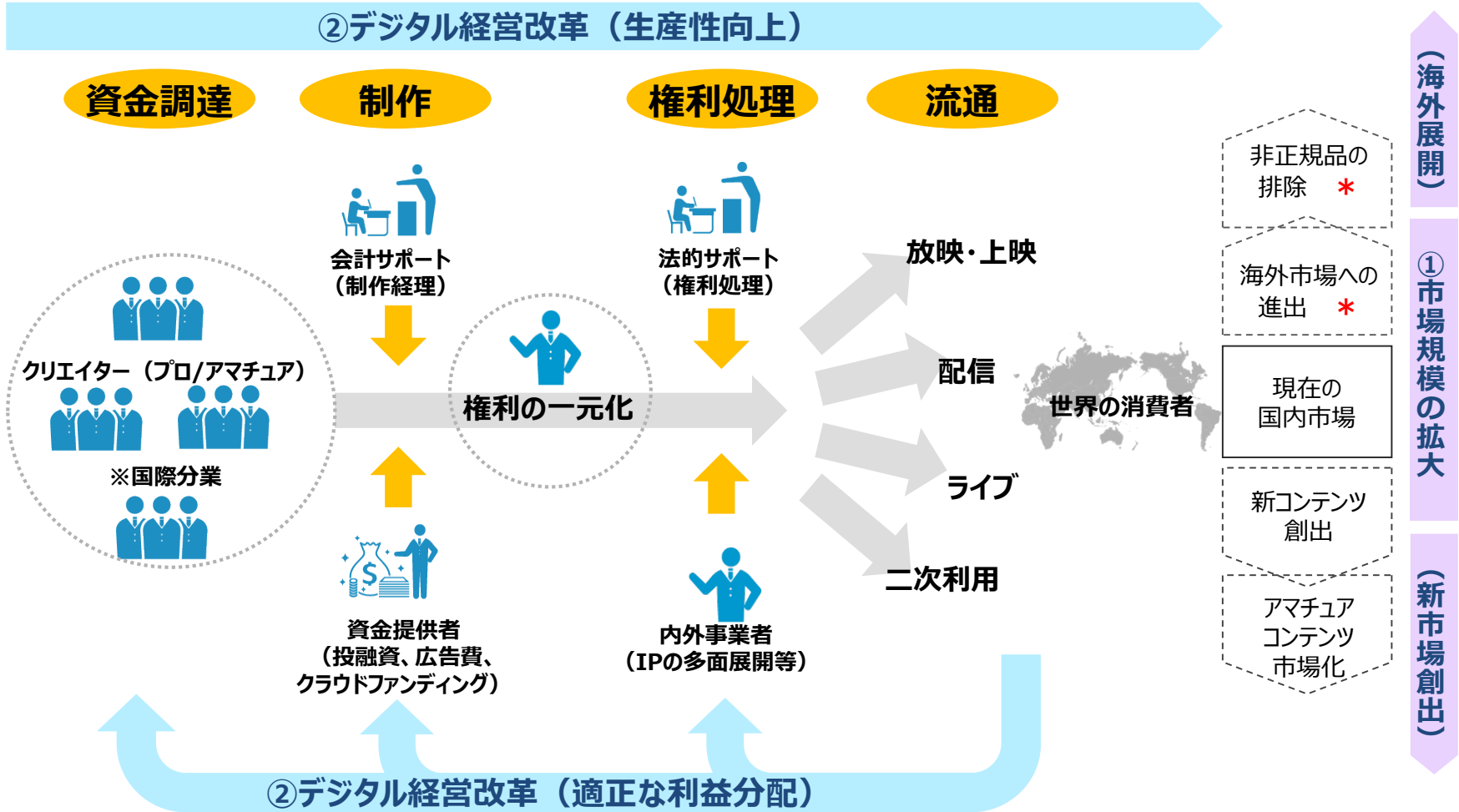
- 中国で酒類の卸売・EC販売等を行う「**EMW**」を通じて、日本全国の酒蔵との協業・海外展開を推進。  
※2020年9月より、櫻正宗他5つの酒蔵の日本酒の取り扱いを開始。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中でも、EC販促などを強化。比較的回復の早い中国での需要を取り込み、日本酒の輸出額が最も多い中国市場での日本酒の消費拡大につなげる。

## 事業内容



# コンテンツ産業政策の柱、方向性

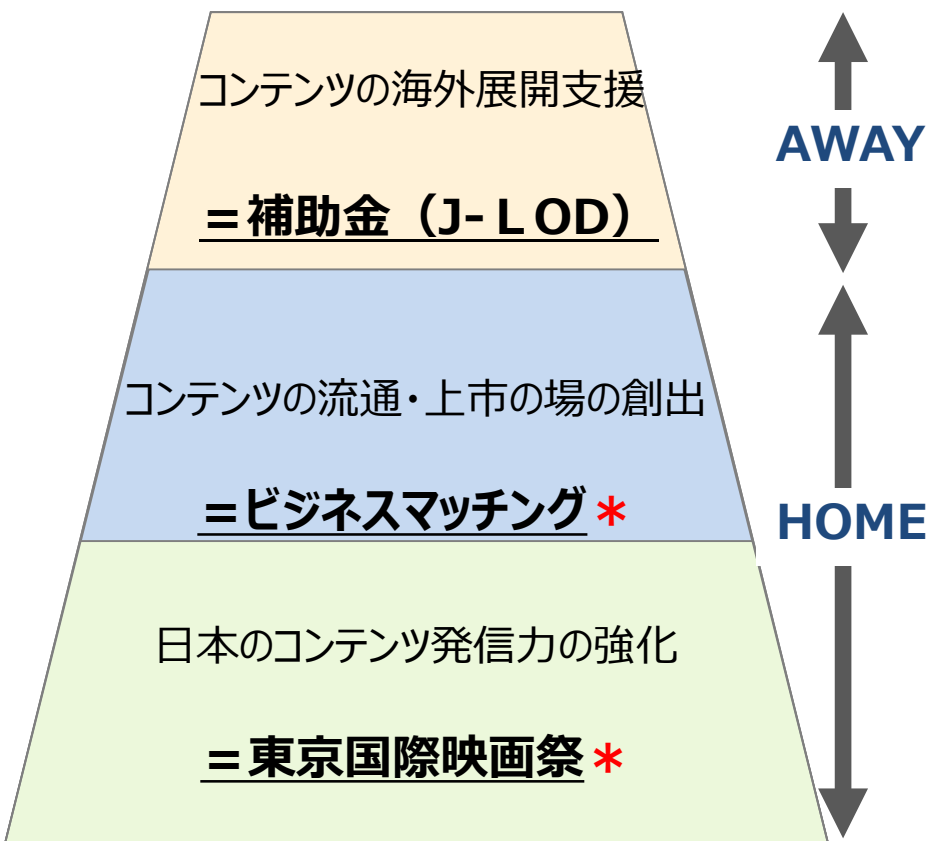
● ①市場規模の拡大とあわせ、②デジタル経営改革が必要。



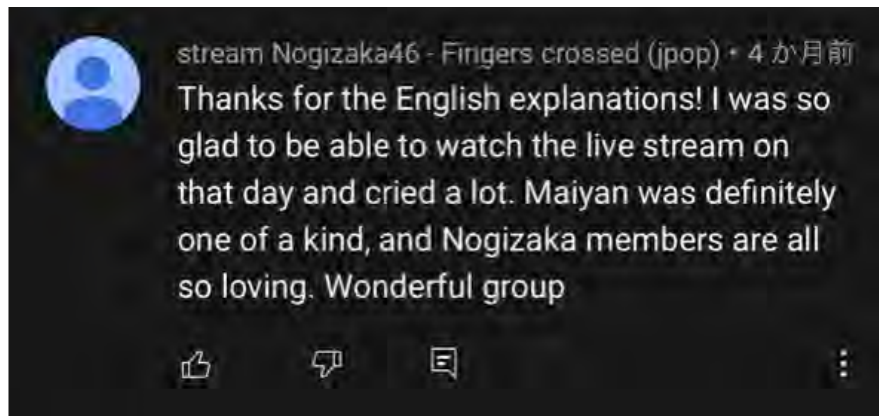
# コンテンツ産業政策の柱①：市場規模の拡大

- 国内市場が伸び悩む一方、世界市場は拡大。日本のコンテンツを、デジタル技術も用いながら海外展開するため、コロナ禍においても、各種支援策を実施している。

## コンテンツの海外展開支援



## デジタル×コンテンツの支援





# コンテンツ産業政策の柱②：デジタル技術を活用したビジネスモデルの確立

- コンテンツの権利処理や制作・流通工程において、**デジタル技術を活用**し、生産性を向上させるため、先進的な実証事業や業界単位での**プロジェクト実施を支援**している。

## ブロックチェーンを用いた権利処理の実証

ブロックチェーンをつかったコンテンツの権利処理の実証（2019年度）  
 （例：エイベックス・テクノロジーズ(株)）



## コンテンツ業界のDXプロジェクト支援

業界のDXプロジェクトの支援（J-LOD補助金）  
 （2019年度）  
 （例：フィルムソリューションズ(株)）

